

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

大型タンカーの長期貸船契約による安定収益確保と安全運航、海洋・地球保全の推進

② 中長期の経営戦略

1. 備船事業の持続的成長

既存取引先への安定的かつ質の高いサービス提供と関係深耕。シンガポール現地法人を活用した新規営業展開と設備投資検討

2. 最適な船隊構成の実現

脱炭素化に伴うエネルギー源転換を見据え、備船者ニーズに対応した海上輸送手段を提供

3. 優秀な船員の確保・育成

積極的な採用による人材拡充と国内外での船員教育充実を並行実施

4. 環境対応型の技術推進

海洋・地球環境保全に向けた次世代型技術への積極的な取り組み

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性への対応

- ・ 米国政策や貿易摩擦による世界経済減速リスク
- ・ 地政学リスク高まりによる景気減速懸念
- ・ 海運業のコストインフレと新造船マーケット高止まり

② 資本効率を意識した経営実行

- ・ 資本コストを意識した経営下での安定収益確保
- ・ 財務基盤の強化と株主への安定利益還元実現

③ 脱炭素化への船隊対応

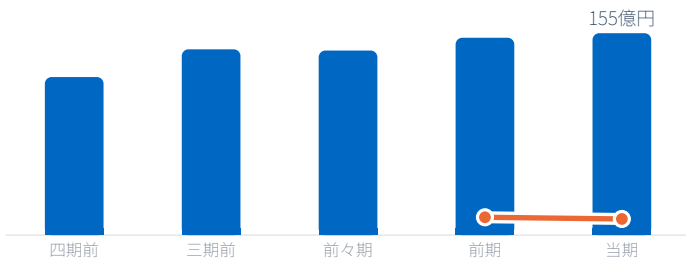
- ・ 将来のエネルギー源転換を見据えた船隊構成最適化
- ・ 次世代型技術ニーズの的確な把握と対応

面接で使えるポイント

- ・ 大型タンカーの長期貸船契約を軸とした安定経営の持続性と特徴
- ・ シンガポール現地法人を国外重要営業拠点として位置付け、グローバル展開を加速
- ・ 脱炭素化とエネルギー転換に対応した次世代型技術への積極投資と船隊最適化

証券コード 9130

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
155億円営業利益率
8.0%財務健康度
41点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 54.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
956万円
海運業内 6位/11社平均年齢
37.4歳
海運業内 10位/11社平均勤続
11.0年
海運業内 10位/11社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 共栄タンカー(株)【9130】：決算情報

